

2024年11月29日

各位

株式会社プレナス

国産 SAF の原料となる廃食用油の供給エリアを拡大、
12月より「ほっともっと」「MK レストラン」で開始
～CO₂排出削減で、気候変動対策へ貢献～

株式会社プレナス（以下プレナス）は、持ち帰り弁当の「ほっともっと」と定食レストランの「やよい軒」、しゃぶしゃぶと本格飲茶の「MK レストラン」を2024年10月末現在、国内に2,810店舗展開しております。また、当社は、関東1都6県の「やよい軒」から出る廃食用油を国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel（以下、SAF））製造の原料として供給することで資源の有効活用を通じて気候変動対策への貢献を目指しております。

このたび、2024年12月より廃食用油の供給を、「ほっともっと」の一部店舗、「MK レストラン」の全店舗に拡大することといたしましたので、お知らせいたします。

プレナスグループは、食に携わる企業として人びとに信頼される企業であり続けるために、私たちが目指すべき方向性を示した「5つのビジョン」に基づいてさまざまな取り組みを行っています。そのすべてがプレナスグループの「おいしさの追求」を支えています。また、「5つのビジョン」の中に「もっと、環境に貢献する企業になろう」があります。お客さまに安全で美味しい食を届け続けるためには、事業活動における未来を見据えた持続可能（サステナブル）な取り組みが不可欠です。これからも廃食用油を国産 SAF に再利用する取り組みに参加することで、トレーサビリティを明確にしながら CO₂排出削減を目指し、さらなる気候変動対策へ貢献してまいります。

■概要

- 対象店舗

ブランド	店舗数		エリア
	2024年 11月末	2024年 12月以降	
ほっともっと	—	28	熊本県、宮崎県、鹿児島県の一部店舗
やよい軒	124	172	関東地方の全店舗 九州地方、山口県の一部店舗
MK レストラン	—	24	全店舗
合計	124	224	—

- 供給量
年間約360トン

- 本取り組みによる CO₂削減量
年間約910トンの見込み

■国産 SAF サプライチェーンについて

当社と日揮ホールディングス株式会社（以下日揮 HD）、株式会社レポインターナショナル（以下レポインターナショナル）、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（以下 SAFFAIRE SKY ENERGY）の4社は国内 SAF の供給に貢献していきます。

プレナス (廃食用油提供)	店舗から出る廃食用油を SAF の原料として供給いたします。
レポインターナショナル (廃食用油収集)	店舗から廃食用油を収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY が運営する SAF 製造装置向けに納入します。
SAFFAIRE SKY ENERGY (SAF 製造)	2024 年度下期～2025 年度初頭の製造開始を目指し、大阪府堺市で建設中の日本初となる国産 SAF の大規模製造プラントにおいて、レポインターナショナルから納入された廃食用油を原料として SAF の製造を行います。製造する SAF は年産約 3 万キロリットルを予定しています。
日揮 HD (サプライチェーン構築)	廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築を主導します。



<SAF とは>

SAF は、石油などの化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料であり、その製造にあたっては様々な原料、製造技術が存在します。原料が 100%廃食用油の場合、従来の航空燃料と比べて原料収集から SAF の製造、燃焼までのライフサイクル全体で CO₂ 排出量を約 80%削減することが可能といわれています。

今日、航空業界では SAF の利用拡大が「空の脱炭素」に向けた最優先課題との認識が定着する一方で、今後見込まれる旺盛な SAF 需要に対し、供給面の整備が急務とされています。SAF の原料である廃食用油について、日揮 HD、レポインターナショナル、コスモ石油株式会社（以下「コスモ石油」）の3社は、2022 年 11 月、SAFFAIRE SKY ENERGY を設立、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年産約 3 万キロリットルの SAF 大規模製造を目指し、2024 年度下期～2025 年度初頭にコスモ石油堺製油所構内に建設するプラントの稼働計画を公表いたしました。本事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html